

# Central Daily Market Report

2017年10月31日(火)

セントラル短資株式会社 総合企画部

## ●資金需給

単位：億円	2017年10月31日		2017年11月1日		2017年11月2日	
	需給速報		需給予想		当社予想	
銀行券	▲ 800		▲ 500		▲ 2,000	
財政	▲ 1,000		▲ 9,300		4,000	
資金過不足	▲ 1,800		▲ 9,800		2,000	
金融調節	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通						
国債買現						
国債売現						
国庫短期証買入	2,500					
国債買入	7,500		6,600			
CP等買入	3,000	▲ 700		▲ 400		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援						
社債等買入		▲ 100				
ETF買入						
国債補完供給	▲ 600	200		600		
当預増減	10,000		▲ 3,000		2,000	
当座預金残高	3,704,100		3,701,100		3,703,100	
準備預金残高	3,257,600					
積み終了先	3,257,300					11月1日以降の残り所要積立額
超過準備	3,257,300					積数 2,800
非準備預金先	446,500					1日平均 200
積み期間 (10/16~11/15) の所要準備額						3,019,200
準備預金進捗率	実績	99.91%	日数	51.61%		

## ●2017年10月31日の市場動向

### <インターバンク市場>

午前8時発表の準備預金残高見込みは、前日比3,000億円増加の327兆円(当座預金残高見込みは370兆6,000億円)。本日の無担O/N物は地銀業態より▲0.06~▲0.04%、証券業態より▲0.055~▲0.04%、都銀業態より▲0.06~▲0.055%での調達で始まった。月末要因でビッドを控える先もあり、出合いの水準は昨日と比べ低下した。一巡後はさらに調達レートが低下し、▲0.07%近辺の散発的な出合いが見られる中、今月の取引を終えた。ターム物に関しては、ショートターム物で▲0.04%近辺の出合いが見られた。昨日から本日にかけて開催された日銀金融政策決定会合では、金融政策の現状維持が決定された。

### <レポ市場>

GCT/N(11/1-11/2)は▲0.120~▲0.105%程度での出合い。S/N(11/2-11/6)は▲0.180~▲0.110%程度での出合いとなった。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られ、個別銘柄では2Y379~381、5Y130~133、10Y336~348、30Y51~56などにビッドの入りが目立った。

### <短国市場>

現先レートT/Nは低水準で推移した。アウトライト市場は、動意なく閑散で、1日の入札を控え、様子見のマーケットとなった。

### <CP市場>

現先S/N物は引続き低位で推移した。発行市場は、機械業態でまとまった額の発行が行われたものの、案件は2件のみ、償還総額、発行総額ともに500億円程と閑散なマーケットとなった。発行レートは0%近辺の低位で推移している。

## ●短期金融市場関連指標

2017/10/31	無担(速報)			有担(速報)			短国	東京レポレート	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円				
	単位:%	最低	最高	平均	最低	最高			平均	売買参考値	平均値	直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)	為替(17時)
O/N	▲ 0.078	0.001	▲ 0.046				-	▲ 0.128	0.065	0.000		22,011.61	▲ 0.06	113.01-02	113.08-10		
T/N							-	▲ 0.110									
S/N							-	-									
1W	▲ 0.035	▲ 0.025	▲ 0.032				-	▲ 0.115									
2W	▲ 0.035	0.020	▲ 0.028				-	▲ 0.115									
3W							-	▲ 0.115									
1M	▲ 0.025	0.030	0.008				-	▲ 0.117									
3M							▲ 0.200	▲ 0.133									
6M							▲ 0.176	▲ 0.137									
1Y							▲ 0.181	▲ 0.162									
												日付	10/24	10/25	10/26	10/27	10/30
												日銀当預残	3,693,100	3,701,300	3,696,000	3,707,500	3,694,100
												準備預金残	3,262,800	3,266,700	3,263,600	3,268,100	3,267,900
												マネタリーベース	4,750,400	4,759,400	4,755,800	4,769,200	4,755,800
												無担O/N加重平均	▲0.041%	▲0.041%	▲0.041%	▲0.039%	▲0.040%
												コール市場残高	91,383	94,304	95,363	96,163	92,084
												うち無担	69,620	71,621	73,028	73,459	69,999
												うちO/N	41,105	42,726	44,033	43,144	40,234
												うち有担	21,763	22,683	22,335	22,704	22,085

## ●入札結果

名称	回号	表面利率	発行予定額	発行日	償還日	応募額(億円)	応募額(億円)	募入最低額	募入最高利回	案分率	募入平均価格	募入平均利回	第1非価格競争入札(億円)
本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。													

## ●オペ結果

種類	オファー額(億円・百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付利率	応札総額(億円・百万ドル)	落札総額(億円・百万ドル)	按分レート・利回較差・価格較差	全取レート・利回較差・価格較差	平均落札レート・利回較差・価格較差	按分比率
国債補完供給(国債売現先)・即日(午前オファー分)	118,303	2017/10/31	2017/11/1		522	522		▲0.500	▲0.500	
国債補完供給(国債売現先)・即日(午後オファー分)	30,284	2017/10/31	2017/11/1		34	34		▲0.500	▲0.500	
米ドル資金供給		2017/11/2	2017/11/9	1.66	2	2				

## ●2017年11月1日の予定

*米国FOMC(2日目)	*国庫短期証券(718回)入札(3ヶ月、44,000億円、11/6発行)	*交付税特別会計借入(10,500億円、11/10借入)
*米国9月の建設支出	*10年利付国債入札(23,000億円、11/6発行)	
*米国10月のISM製造業景況指数		

## ●日銀金融政策決定会合・結果

●現行の金融市場調節方針を維持することを賛成多数で決定。
(1)長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成8反対1)
短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。
長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、長期国債の買入れを行う。買入れ額については、概ね現状程度の買入れペース(保有残高の増加額年間約80兆円)をめどとしつつ、金利操作方針を実現するよう運営する。
(2)資産買入れ方針(全員一致)(長期国債以外の資産の買入れについて)
①ETFおよびJ-REITについて、保有残高が、それぞれ年間約6兆円、年間約900億円に相当するペースで増加するよう買入れを行う。
②CP等、社債等について、それぞれ約2.2兆円、約3.2兆円の残高を維持する。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。  
 セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入